

2013年3月6日

VOL. 76

とっとり・グローバルウォッチ

とっとり国際ビジネスセンター情報誌

アンニョンハセヨ KOREAレポート10 日本産製品も韓国のオンラインモールで簡単購買

韓国はオンラインマーケットが発達した代表的な国家である。超高速インターネットの普及率がOECD国家の中で1、2位を競うほどインフラが構築されているため直接売場に訪問するよりネットサーフィンを通じて家でも簡単にショッピングする文化が定着した。これにより海外製品を直接インターネットモールで購買するスマート消費者も増えている。過去、日本現地でのみ購買できた日本伝統のインテリア商品や飾り物も直輸入オンラインモールを通じて韓国で購買する者が出てきている。

■オフラインを超える韓国のオンライン市場規模

韓国は特にオンラインマーケットが発達している国家である。韓国放送通信委員会によると、韓国の超高速無線インターネットの補給率はOECD国家の中で1位（100名当たり104.2）であり、超高速有線インターネットの補給率もOECD国家の中で4位（100名当たり36.2）に至るほど韓国はインターネットの使用が活発な国家である。インターネット網の発達に伴い、オンラインマーケットも共に急成長した。韓国のオンラインマーケットの売上規模は既に2～3年前に韓国のデパートの売上規模を超えたと推定される。

■一部の日本商品もオンラインマーケットでヒット

オンラインマーケットの拡張により日本産製品を家でクリック1回で購買することもありふれたことになった。東日本大地震の以後に人気は落ちたが、大地震の直後には韓国で購買熱風が起きたほど日本産オムツは高い価格にも関わらず韓国の代表的なオンラインモールのE-Mart、Auction、G Marketなどで全部販売されている。これ以外にも日本のベビー・フード用のスプーンや取っ手付きカップも韓国ママの人気を集めている。

今年の冬の厳しい寒さに韓国のオンライン・オフラインマーケットをひっくるめてヒットしたもう一つのヒット商品は使い捨てカイロである。昨年10月～12月韓国のあるソーシャルコマース企業が販売した使い捨てカイロの数は200万個であり、前年度の同期間に比べ100倍以上販売されたと推定される。しかし、この使い捨てカイロの大部分が日本産製品である。韓国の大型マートのE-Martは、日本から小林製薬の使い捨てカイロを直接輸入してオンライン・オフラインを通じて大量販売した。

目次

アンニョンハセヨ KOREAレポート 10	P 1 P 2
よくあるお問合せ ～貿易実務Q & A～	P 2
現地発！ 台湾月刊レポート 69	P 3 P 4
最新の上海 ～現地レポート～60	P 5 P 6
お知らせ	P 7

	2008年	2010年	2012年
TVホームショッピング	39,000	46,800	72,400
インターネットショッピングモール（一般モール）	89,900	150,000	209,000
インターネットショッピングモール（オープンマーケット）	64,900	123,400	152,000

韓国のオンラインマーケットの成長推移
（資料：韓国オンラインショッピング協会、単位：億ウォン）

世界の祝日 4月

- 中国 4～6日 清明節
29～5月1日 メーデー
- 香港 1日 イースターマンデー
4日 清明節
- タイ 8日 チャックリ朝記念日
15～16日 タイ旧正月

これ以外に韓国では購入が難しい日本特産物の納豆やヒノキ石鹸もオンラインモールのおかげで購入しやすい商品になった。また、韓国で日本式居酒屋や和食のカフェが人気を集めたことにより、それらの売場を飾るインテリア商品を専門的に販売するインターネットモールもできた。出入口にかける日本産のれんのみ約100種を取扱う‘アジアモール’が代表的である。釜山国際市場にあるこの企業は、オンラインマーケットを通じて和食店を運営する全国各地の顧客を対象として営業している。

■海外オンラインサイトでの直接購買も増加

オンラインマーケットに慣れた消費者が、輸入される商品を仲介流通チャンネルを通さずに直接海外オンラインモールを通じて購入する場合もある。200ドル以下の商品を直接購買する場合、関税も免除されるため流通マージンが付いた商品を高い価格で購入するより少し時間がかかっても廉価購買を選ぶ。

日本のオンラインモール1位企業である楽天は、韓国消費者が利用する代表的な日本のオンラインモールである。楽天の場合、韓国語ホームページを運営しており、韓国に直接配送するため利用も簡便である。日本でもヒットしたから揚げ粉やハローキティのキャラクター商品などを直接購買でき、一部製品については韓国まで無料配送するイベントを行うこともある。

韓国に直接配送しないオンラインモールの場合、韓国の代行企業が海外に倉庫などを運営し、配送代行をするビジネスも活発に行われている。男性は主に日本のアマゾンなどを通じて日本の電子機器を購入し、女性の場合は美容雑貨や携帯アクセサリーなどを購入するためこのような配送代行サービスを利用することが多い。



写真上：E-Martが販売した日本産使い捨てカイロ
写真下：日本楽天のウェブサイトの韓国語バージョン

【デロイト安進会計法人 金明奎 (김·민규)】

よくあるお問合せ ～貿易実務Q&A～

Q. 海外の市場動向や展示会情報を知りたいのですが、どうしたらよいでしょう？

A. ジェトロのサイト各国の市場動向や海外見本市・展示会の検索が可能です。

ジェトロのサイトからは、国及び地域別、産業別に海外での市場動向に関する情報が入手できます。また、関心ある商材に適した海外見本市や展示会の検索も可能となっています。

ジェトロ海外ビジネス情報 ⇒ <http://www.jetro.go.jp/biz/>

ジェトロ海外見本市・展示会検索 ⇒ <http://www.jetro.go.jp/j-messe/>

また、とっとり国際ビジネスセンターでは、台湾、上海、ソウルに海外コーディネーターを配置し、ウラジオストク（ロシア）にもビジネスサポートセンターを設置しています。これらの機関を通じても現地の情報の収集、提供が可能です。

■詳細については、下記へお問合せください。

とっとり国際ビジネスセンター 電話：0859-30-3161 FAX：0859-30-3162

【とっとり国際ビジネスセンター 岩田】

現地発！台湾月刊レポート 69

桃園県の目覚ましい発展について

桃園県の発展が止まらない。桃園空港を核として「大航空域」プロジェクトが進んでいる。皆様も桃園空港から台北市に向かう時は、巨大建設物を目にすることであろう。

桃園県は、台湾の表玄関である台北国際空港（桃園空港）のある県である。日本人の感覚で言うと、成田空港のある千葉県という感じ。この県の発展が止まらない状況にある。桃園県知事（縣長）である吳志揚氏の政府運営と台湾発展がうまくマッチした結果であるとも言える。



桃園県の位置関係

吳知事は、203万人を要する桃園県民に向けて次のように述べた。「桃園県の直轄都市昇格」「航空域」「地下鉄」「河川整備」、これを一気にやる。過去の桃園とは違う生活環境を提供する、と。過去三年間にわたり、吳知事は、県民に対して希望を持たせていた。しかしなかなか実現しなかったのも事実である。しかし彼は、信念を変えなかった。議会や県民の前で「天時、地利、人和」のもと「航空域」「地下鉄」「河川整備」の三大プロジェクトを達成すると信念を持って語り続けたのである。ここで「天時、地利、人和」とは、孟子の教えで、「天の時は地の利に如かず。地の利は人の和に如かず。」つまり「天のもたらす幸運は地勢の有利さには及ばない。地勢の有利さは人心の一致には及ばない。」人の心を団結させることが、困難なプロジェクトを達成させる要因であるという哲学のもと、急激な発展をもたらすことになったのである。

以上は、彼の取り巻きメディアの発言であるが、私が見ていてもここ数年の変貌ぶりには、驚く。桃園空港から台北に来る高速道路は、緑豊かであった。しかし現在は、蛇のような構造物が続くようになった。下の図は、桃園県に出来た、あるいは建設中の地下鉄、鉄道の路線完成予想図である。数年前は本当に何もなかった地域が、網の目の鉄道網に囲まれている。以前台湾に来た方は、桃園空港が成田空港と同様に陸の孤島と感じたと思う。市内に入るには、バスかタクシーしかなかった。しかし台湾新幹線桃園駅ができて、現在では、このように路線が張り巡らされるのだ。



桃園県の路線イメージ。
施工済みと建設・
計画中のものを表示。

<次頁に続く>

桃園県の中核駅、桃園駅と中壢駅が中心となる。そして桃園空港、台北へと一大都市圏を築こうとしている。中壢駅は、単なる趣きのある古い台湾の一都市でしかなかった。余談だが、中壢は、客家人のふるさとでも有り、祖先を追うNHK番組をご覧になった方もいると思うが、NHK朝の連続ドラマ「純と愛」で、旅館の女将を演じる余貴美子さんの祖先は、ここの出身である。



現在の中壢駅



新しい中壢駅の予想図

田舎のローカル駅がこのように変わる。では、呉知事は、どのような発想で本プロジェクトを進めているのか。記者との一問一答があったのでポイントを翻訳する。桃園県大規模プロジェクトのポイントは何か。

- ・桃園空港の国際レベルに負けない競争力の維持発展。
- ・桃園空港をハブにした運輸網の整備。
具体的には、地下鉄、鉄道整備。
これがない限り地域全体の活性化が望めない。
- ・空港を中心とした貿易発展地域の整備。
空港地域に免税倉庫地区を整備し貿易経済都市とする。
- ・台北を中心とした住居環境は、コスト高になった。
桃園県が吸収することで、豊かな住環境と利便性を提供する。

このようなものである。呉知事いわく、本プロジェクト「大空港域」は、中華民国創建以来最大の都市計画である。我々は、それを成し遂げている。桃園県の人々は、空港騒音等、常に被害者であった。しかしこれからは、受益者として豊かで、便利な生活を送ることが可能になる。土地買収等、大変な困難を伴うが、皆さんと馬總統の元、全力を尽くしたい。

■桃園航空域とは

桃園県は、2014年12月25日に直轄市になる。地下鉄藍線（中壢から桃園）、緑線（桃園から南崁經由飛行場）、棕線（新莊迴龍から桃園）が開通する。更に道路は、高架道路で五股から楊梅に達する。商業圏としては、桃園駅を中心として、新光三越、遠東百貨、統領百貨の周りには将来的に30～40階の高層ビルが立ち並ぶ。中壢の古い町並みにも、新しい計画では30～40階の高層ビルが立ち並ぶ。個人的な意見では、バブルである。しかし日本人がかつて経験したように誰も弾ける段階がわからない。台湾人に言わせると、まだ投資をすると言っている。魚がたくさんいる地域であるので、百貨店への進出等、身軽な準備で出店来れば、一財産できる雰囲気はある。一方、土地価格調査では、前年度比で2.5%から5%も上がったため、土地価格上昇抑制策の様子見を始めた人も多いと述べている。しかし中壢では、SOGO百貨店付近が、まだ上がると考えている人も多いと述べている。どうやら世界的な経済不況でもない限り、まだまだ土地価格は、上がりそうである。



桃園県の工業地帯分布図

最新上海 ～現地レポート～ 60

世界最大規模の消費品見本市「華東交易会」

先日、新年を迎えたばかりのように感じるが、早いものでもう3月。日本では、年度末を目の前に慌しい季節だが、中国では旧暦に基づく春節を「お正月」としており、2月末の元宵節（げんしょうせつ、旧暦新年15日目）を過ぎて、平素の活気ある上海に戻ったという感じだ。

さて、先週、華東輸出入商品交易会（以下、華東交易会と略記）に行ってきた。華東交易会は中国において最大規模で、出展数及び来場バイヤー数や成約金額においても最も多い輸出入商品見本市とされている。

■第23回華東交易会の概要

開催期間：2013年3月1日～5日

主催：上海市、江蘇省、浙江省、安徽省、福建省、江西省、山東省、南京市、寧波市

開催地：上海新国際博覧中心

（上海市浦東新区龍楊路2345号）

出展数：3500社以上5880ブース

出展区分：ファッション、日用紡績類、日用消費品、電子消費品、日用雑貨、工芸品及びギフト、海外商品の7ゾーン

海外の国及び地域による出展：

日本、韓国、台湾、香港、アメリカ、フランス、イタリアなど10カ国

参考：日本語版公式サイト

<http://vip.ecf.gov.cn/Rn/index.aspx>

■海外商品出展ゾーン

このエリアで最も大きな存在感を見せ付けていたのが韓国だ。ブース全体を「韓国館」という看板で統一した上で、企業が各自のブース作りをしており、看板のデザインには国旗が用いられていた。強いナショナルイメージのアピールは、昨年からの日中関係下のもとでは難しいという以前に、控えめな日本は文化的にも馴染まないのかもしれない。さて、出展数及び出展ブース面積から見ても韓国は最も多く、次に日本、台湾と続いた。そのほか、出展数は少ないもののネパールやイランなどの中央アジア諸国からの出展企業は、豪華でカラフルな絨毯や宝石など一般来場者の目を引くものを広々と展示していたのが印象的だ。

このエリアは中国に輸入された商品ばかりとは限らず、中国国内で海外向けに製造された商品も展示されていた。右写真5の「義烏小商品館城」は、一日に約20万人ものバイヤーが訪れると言われている浙江省義烏市にある世界最大規模の日用品卸売市場だ。ここには所謂、百元ショップやホームセンターで見かけるような商品がずらりと並んでいた。



写真1：韓国館

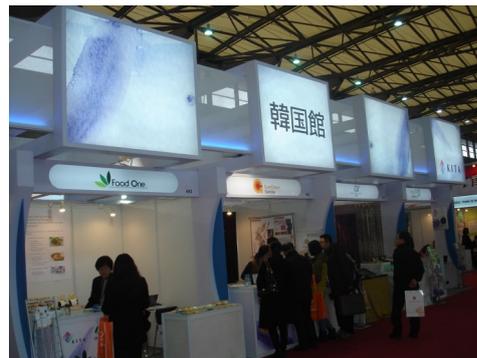


写真2：韓国館



写真3：ペルシャ絨毯を展示するイラン企業



写真4：石を販売するネパール企業



写真5：義烏小商品館城

■ ジェトロ・ジャパンプースほか日本関連の出展状況

昨年はジェトロが企業や自治体を対象として出展募集を呼びかけた結果、24社・団体が出展したが、今年はジェトロから企業への出展募集はなく、上海に拠点を置く自治体を中心に募集し、出展を希望した16自治体が独自の特産品を展示したり、自治体各自で県内企業への呼びかけが行われるかたちとなった。ちなみにジェトロとしての出展は、昨年の30ブースから今年は4ブースへと大幅な規模縮小であった。

一方、日本パビリオン以外では、新潟県・埼玉県・群馬県がジェトロとは別に独自に出展をしている。この3県は合同出展で、ブースひと塊に3県のブースが並んでいた。特に、例年出展している新潟県は8ブースを出展し、例年に比べれば出展企業数が少ないとのことながら県内企業10社が出展していた。埼玉県と群馬県もそれぞれ4社と2社の県内企業が出展。自治体の出展以外では、ダイソーや日系貿易会社などの企業による独自出展も少ないながら見受けられた。



写真6：ジェトロ・ジャパンプース

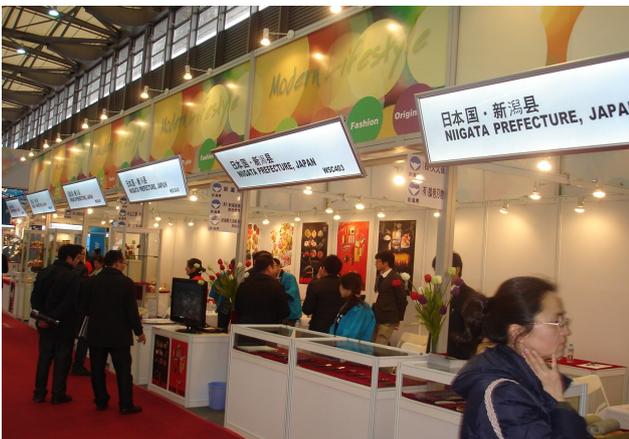


写真7：新潟県による出展ブース



写真8：群馬県による出展ブース

■ 海外バイヤー数の減少と今後

世界最大規模と呼ばれている華東交易会には、国内のみならず世界各国からバイヤーが訪れ、昨年実績では国内バイヤー2万2000名余り、海外バイヤー128ヶ国約2万1124名が来場している。筆者は、開催初日となる3月1日（金）に行ってきたが、来場バイヤーの数はあまり多いとは感じられなかった。ジャパンプースがある海外商品展示エリアは、龍陽路に面したメインゲートから最も奥側であるためか、旧正月明けで台湾や香港などの中華圏から訪れるバイヤーに都合の悪い日程であったためか、中国での買い付けは既にコストが高くなっているせいかと考えていたが、例年ここに足を運んでいる知人バイヤーによると、ここ数年の内では、「まあまあ人の入り」と話していた。

海外からのバイヤーは減少がみられたものの、中国人バイヤーの日本商品への注目を感じた出展企業も多い。ある伝統染織物を販売する企業は、この商談会で20社以上のビジネスマッチングがあったようで、日本でも非常に高価な染め織物が海外でのニーズもあると手ごたえを感じる事ができたようだ。これまで世界最大規模の展示会として世界中のバイヤーを誘致する見本市とされていたが、中国が外需依存から内需拡大されてく中で、華東交易会の役割も海外バイヤーによる買い付けの拠点から国内バイヤーが世界各地の商品を発掘するための拠点へ変貌していくのではないかと。

お知らせ

ミャンマー経済セミナーのご案内

岡山中金ユース会議とジェトロ岡山では、ミャンマーの経済概況、および投資先としての魅力と留意点について解説するセミナーを開催します。

2011年3月に発足したミャンマー新政権は、これまでの軍政による内向きな政策を180度転換、諸外国からの投資を積極的に誘致する姿勢を打ち出しており、14年にはASEAN議長国に就任することも決まって世界各国の注目を集めています。アジア開発銀行（ADB）でも、13年における同国のGDP成長率を6.5%と予測、底堅い経済成長を見込んでいます。本セミナーをご活用いただき、貴社のビジネスにお役立て下さい。

日時：2013年3月26日（火）16：00～17：30
場所：ホテルグランヴィア岡山 クリスタルA
プログラム：

「ミャンマー経済セミナー」

講師：ジェトロ 海外調査部 主査 荒木 義宏
主催・共催：岡山中金ユース会議、ジェトロ岡山
参加費：無料
定員：60名（先着順）
申込み締め切り：2013年3月18日（月）
申込・問合せ：ジェトロ岡山
TEL：086-224-0853 FAX：086-224-0854

中国（北京）国際サービス貿易交易会のご案内

ジェトロは昨年を引き続いて「中国（北京）国際サービス貿易交易会（CIFTIS）」にジャパン・パビリオンを設置し、わが国サービス産業の中国ビジネス展開を支援します。

サービス産業に特化した中国内最大級の国際展示会であり、中国企業・政府関係者等とのアクセスやマーケティングを効率的かつ効果的に行う場となる本展示会のジャパン・パビリオンに、是非ご出展下さい。

《展示会概要》

会期：2013年5月28日（火）～6月1日（土）
会場：北京・中国国家会議中心
主催：中国商務部、北京市人民政府
出展社数：約3万社（同上）

《ジャパンパビリオン概要》

募集小間数（予定）：32小間
対象分野：通信、流通、教育、環境、健康関連及び社会事業、観光および旅行関係、娯楽・文化及びスポーツ、運送、その他サービス ほか
申込み締め切り：2013年3月15日（金）
申込・問合せ：ジェトロ・サービス産業課
TEL：03-3582-5238 FAX：03-5572-7044

編集後記

とっとり国際ビジネスセンターでは、台湾、上海、ソウルに海外コーディネーターを設置しています。

先日、台湾と上海のコーディネーターが県内企業数社を訪問し、海外販路開拓やインバウンドに関する具体的なアドバイスをしたり、現地の情勢や日本製品の輸出入規制等について情報提供を行うなどしました。訪問先の中には、これから海外へ展開しようとしている、或いは、今のところ海外に出る予定はないが関心はある、という方もおられ、コーディネーターとの意見交換を通じて海外市場における自社のビジネスチャンス有無を確認されました。

海外コーディネーターは、県内企業からの簡易な照会や現地情勢の概要説明等に無償で対応いたします。具体的な商談斡旋依頼や実務的な情報提供についても、別途ご相談を承っております。お困りのことがございましたら、お気軽にとっとり国際ビジネスセンターまでご相談ください。

本誌「とっとり・グローバルウォッチ」は、皆様から内容のご提案や掲載されている情報へのご意見・ご感想をお待ちしておりますのでお気軽にお寄せください。

お問い合わせ：公益財団法人鳥取県産業振興機構 とっとり国際ビジネスセンター

《本 部》境港市竹内団地255-3

TEL：0859-30-3161 FAX：0859-30-3162 E-mail：kaigai@toriton.or.jp

《東部窓口》鳥取市若葉台南7-5-1

TEL：0857-52-6757 FAX：0857-52-6782 E-mail：kaigai@toriton.or.jp